

国土学事始め



大石久和さん

国土技術研究センター理事長

性をもって実現するための法律」となります。

前回の長期計画はその前の計画から40%も伸びています。今回はさらに31%も計画規模を拡大しています。ここ2回の計画改定でアメリカの交通施設整備計画は、1.8倍にもなったこととなります。今回の計画では、高速道路

などのハイウェイに計画全体の79.0%の予算を集中しています。公共交通に18.5%、交通安全などに2.5%を充

インフラ整備は国際的な視点で

ているのに比べ、ハイウェイに対して相当大きな集中を行っています。伸び率についても、ハイウェイについては前回計画に比べて32.9%増を確保する、としています。

名の演説で述べています。「経済成長を維持するためには、海外への石油の依存を軽減する必要があります。そのためにも、世界で一番効率的で安定した交通網を維持し、国民の雇用を確保するため、ハイウェイや道路を近代的なものにしておくことが必要である。全国交通網を21世紀に

ためのインフラ整備には、努力を惜しんでいないことを知っていたいただきたいのです。資本主義の経済である限り、経済の成長がなければ全体としての富の増大がないことは明らかです。道路などのインフラは、人やものの流通や流動を効率的にして経済を成長させ、そのネットワークの水準は国際競争力の高さを決める力を持っていますから、国内だけをながめていたのでは議論が閉じないことも、是非知ってほしいのです。国土への働きかけはまったく国内的な営みですが、これについての評価には国際的な視点が必要です。従って、国土への営みを考える「国土学」は、世界的、国際的な空間でとらえる必要がある、と考えています。

この8月10日にアメリカのブッシュ大統領は、新たな長期交通計画法にサインしました。今回の法律は、いままでの時限法の延長ですが、新たな考え方が盛り込まれました。法律名は、日本的に解説しますと「安全で効率的な交通システムを、利用者への将来に引き継ぐべき資産として、説明責任、弾力性、公平

ブッシュ大統領は、法案署

政赤字のなかで、経済成長の